

### 半田市図書館



- 王さまと九人のきょうだい
- 君島久子／訳
- 赤羽末吉／絵
- 岩波書店

子どものいないおじいさんとおばあさんに、ある日、九人の赤んぼうが生まれました。このきょうだいは、体も顔つきもそっくりでしたが、それぞれふしぎな力をもっています。九人のきょうだいが成長すると、王さまはむずかしい問題をふっかけてきて……。

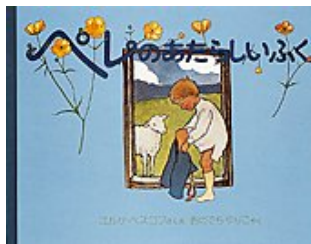
### 飛鳥村図書館



- つきのよるのものがたり
- 黒井健／絵
- ひさかたチャイルド

しずかな森の、美じゅつかんで、話し声。「つきのよる」という、えの中のねずみたちの声です。いつもお月さまばかり見ていて、お日さまを見たことがありません。お日さまを見にいこうと、絵の中からとび出しました。森の中をさがし、やがてお日さまが顔を出しました。お日さまに、大よろこび。夜になって、お月さまが出てきたとき、絵の中のお月さまを思い出したねずみたち。どうするのでしょうか。

### 東海市立中央図書館



- ペレのあたらしいふく
- エルサ・ベスコフ／作・絵
- 小野寺百合子／訳
- 福音館書店

ペレは自分の子ひつじをかっています。ペレは大きくなって、だんだんふくが小さくなってしまいました。そこでペレは子ひつじの毛をかりとって……。一匹の子ひつじの毛から、新しいふくができるまで、ペレのがんばりと、みんなのきょう力はつぎます。ふくって、こーやっでできるんだーって、びっくりしたり、感心したりします。ペレが子ひつじにありがたうのきもちをつたえる様子がすてきです。

### 常滑市立図書館



- よもぎだんご
- さとうわきこ／作
- 福音館書店

ばばあちゃんと子どもたちが、野原でよもぎやつくしをとって、おだんごをつくるお話です。子どもたちは、ばばあちゃんに教えてもらいながらよもぎだんごをつくり、おだんごパーティーを開きました。でも、どうして今日おだんごをつくったのかしら？のはらはっぱをおやつにしてしまえばばばあちゃんの知恵がいつぱいつまった、しぜんめぐみを感じられる絵本です。絵本のとおりによもぎだんごをつくってみてください。

知多市立中央図書館

● どんなにきみがすきだか  
あててごらん

● サム・マクブラットニイ／作  
アニタ・ジェラーム／絵

● 小川仁央／訳

● 評論社



ある日、小さな茶色いノウサギは、大きな茶色いノウサギにきてみました。「どんなに、君がすきだか、あててごらん」。チビウサギとデカウサギは、たがいに相手をどれだけすきか、表げんし合います。どんだん「すき」が大きくなりますが、きょうそうなんかじやありません。本当にそれだけ、あるいはそれ以上に「すき」なんだということが、ちゃんと伝わってきます。色づかいのやさしい、かわいらしい絵本です。

大府市中央図書館

● うえへまいりまあす

● 長谷川義史／作・絵

● P H P 研究所



今日は、みんなが大好きなデパートで買い物。おかあさんは「みずぎ」を、おとうさんは「パンツ」を、ぼくはおもちゃ売り場で「くるま」を買って……。『あれれ』みんなが買い物をするたびに、エレベーターの中はおかしなことになってきたぞ。おまけにエレベーターはとんでもないすうじのかいまで上がっていった……。楽しい絵とまかふしぎなおはなしが合わさったこの絵本。リズムにのって読んでいると、思わずいつしよに「チーン。うえへまいりまあす。」と言いたくなります。

東浦町中央図書館

● ペツエツティーノ

● レオ・レオニ／作

● 谷川俊太郎／訳

● 好学社



自分のことをだれかのぶぶん品だと思っているペツエツティーノ。他のみんなは大きくてきれいですばらしく見えます。そこで彼は、だれのぶぶん品かをさがしに行きます。わたしはどこから来ただれなんだろう、わたしなんて取るに足らないんじゃないんだと思っただけのことではありませんか。みんなかけがえのないそんざいであることを教えてくれる物語です。

阿久比町立図書館

● みえないってどんなこと?

● 星川ひろ子／写真・文

● 岩崎書店



目が見えないめぐみさんが、もうどう犬エルバといっしよにようち園へやって来ました。めぐみさんは児童かんの先生です。ようち園のみんなは、めぐみ先生といっしよに「見えないこと」を体けんします。アイマスクをした子が友だちのところへ歩いて行くとき名前をよんで声をかけてあげると安心します。アイマスクをしてコーヒークップをさわったり、においをかいでリングをみつけたりました。さなかしたみんなの顔からしんけんさが伝わってくる写真絵本です。

### 美浜町図書館

- おかあさん、げんきですか。
- 後藤竜二／作
- 武田美穂／絵
- ポプラ社



母の日にむけて、お母さんに手紙を書くことになったぼく。かんしゃのことばはてれくさいから、おもいきって言いたいことを書くことにしました。「わかった？ つていいわないで」「ぼくのへやをかってにそうじしないで」などなど。読んでいくと「うちもおなじ」とわらえてきたり、むねがキュンとなったりするのではないのでしょうか。お母さんに言いたいことが言えない子は、この本をお母さんにわたしてください。きっとやさしいお母さんになってくれるでしょう。

### 南知多町民会館 図書室

- いつまでも ずっと ずーっと ともだち
- たかやまえいこ／作
- つちだよしはる／絵
- 金の星社



アライグマのあらいくんの一番のなかよしは、シロクマのくまがいくん。ある日、あらいくんがいつものように元気に学校へ行ったところ、クラスの友だちは元気がありません。「くまがいくんがひっこしてしまっただってー」。みんなからきいて、あらいくんは落ちこんでしまいます。次の日学校を休んだくまがいくんを心配したあらいくんは、くまがいくんに手紙を書くことを思いつきます。そして……。『友だちっていいな』という気持ちになれる本です。

### 岡崎市立中央図書館

- みかんのひみつ
- 鈴木伸一／監修
- 岩間史朗／写真
- ひさかたチャイルド



なつみかん、レモン、シークワーサー、……。みかんにはなかな間がいっぱいあります。五月のころ、甘い香りをただよわせながら、白い花がさきます。その花がちつてしまうと、緑色のみかんの赤ちゃんができます。夏から秋にかけてみかんの実はどんどん大きくなっていきます。新鮮な写真によって、みかんのひみつが分かります。

### 武豊町立図書館

- ふたりはともだち
- アーノルド・ローベル
- 作 三木卓／訳
- 文化出版局



「はるがきた」「おはなし」「なくしたボタン」「すいせい」「おてがみ」の五話がつしゅうろくされています。「おてがみ」は小学校二年生の国語の教科書にもけいさいされています。どのお話も、なかよしのがまくんとかえるくん二人の相手を思いやる気持ちがあふれていて、すてきな友情を感じます。がまくんとかえるくんシリーズは、この本のほかに「ふたりはいつしよ」「ふたりはいつも」「ふたりはきょうも」があります。



刈谷市中央図書館

- どうぞのいす
- 香山美子／作
- 柿本幸造／絵
- ひさかたチャイルド



うさぎさんが短いしっぽのつたいいすを作  
り「どうぞのいす」と書いた立てふだをおき  
ました。さいしよにろばさんがどんぐりのか  
ごをいすにおき、木かげで昼ね。そこへきた  
くまさんはどんぐりを食べてしまい、からっ  
ぽではかわいそうと、かわりにはちみつをお  
きました。そのあと、次々に動物たちがやっ  
てきました。目のさめたるばさんはかごを見  
て「あれれれ……」とびっくり。動物たちの  
表じようがかわいくて、思わずにっこりやさ  
しい気持ちになります。

碧南市民図書館

- すてきな三にんぐみ
- トミー・アンゲラー  
／作
- 今江祥智／訳
- 偕成社



黒いマントにぼうしの三にんぐみは、お  
どしの道具を使って宝をうばう、こわい  
どろぼうたち。しかし、ある夜、おそった  
馬車にのっていたのは、みなしごのティフ  
アニーちゃん一人だけ。三にんぐみは宝の  
かわりに、ティファアニーちゃんをつれて帰  
りました。朝になって、目をさましたティ  
ファアニーちゃんは、宝の山を見てびつくり  
し、「これ、どうするの？」と三にんぐみ  
にたずねます。そこで、これまでどうする  
つもりもなかった三にんぐみは相談をし  
て、すてきなことを思いつきます。

安城市中央図書館

- ぼくは王さま
- 寺村輝夫／作
- 和田誠／絵
- 理論社



あそんで、おかしをたべて、あそんで、べ  
んきょうして、あそんで、ひるねして、あそ  
んで、ごはんをたべるのが王さまのまいにち  
です。うらやましいかな？ それとも、みん  
などにてるかな？ きょうも王さまはけらい  
たちをまえに、いろいろなわがままを言っ  
ています。ぞうのたまごのたまごやきにしゃぼ  
んだまのくびかざり、どれもめずらしいもの  
ばかりだけど、手にはいるのかな。いばつて  
ばかりだけどやさしい、たのしいことがだい  
すきな王さまのおはなしです。

豊田市中央図書館

- わにわにのおふる
- 小風さち／作
- 山口マオ／絵
- 福音館書店



登場人物はワニのわにわに。見た目  
はこわいけれど、おふるに入ったり、  
おもちゃで遊んだり、歌を歌ったり。  
なんだかお友だちになれそうな親近  
感にあふれています。わにわにの行動  
はとてもあいらしく、お風呂上がり  
にジュースを飲む姿は、見ていて思わず  
にっこりしてしまいます。とてもシン  
ブルなストーリーの中に、心あたたま  
るほんわかしたふんいきがただよっ  
ています。絵本を読み始めたくらい  
の小さな子におすすめしたい一冊です。

### 知立市図書館



- ちいさいおうち
- バージニア・リー・バートン
- ／文・絵
- 石井桃子／訳
- 岩波書店

むかしむかし、ちいさいきれいなお家がありました。元気のいい子どもたちや四季おりおりの花や木々にかこまれ、ちいさいおうちは幸せでした。ところが、ひなぎくの花のさくおかをけずり広い道路ができあがると、馬車の代わりに自動車やトラックが現れます。そして、時のうつりかわりとともに、ちいさいおうちの周りはいつしか大都会になってしまいます。まず大人がじっくりと読んで、子どもたちに語りつぎたい絵本です。

### 西尾市立図書館



- しりとりのだいすきなおうさま
- 中村翔子／作
- はたこうしろう／絵
- 鈴木出版

しりとりのだいすきなおうさまの食事の時間はたいへん。だってごはんを食べる時もしりとりの順番になっていないといけないのです。しかも食事のさいごは「プリン」でないといけない。毎日しりとりでメニューをかんがえないといけないなんて大へんですよね。こまっただけの私たちはある作せんをかんがえました。その作せんとは。みなさんもしりとりでメニューをかんがえてみよう。最後はおうさまの大好きな「プリン」で終われるかな。

### 一色学びの館



- おおきくなるっていうことは
- 中川ひろたか／文
- 村上康成／絵
- 童心社

大きくなるってどういうこと？ 「おおきくなるっていうことはようふくがちいさくなるってこと。」「あたらしいはが、はえてくるってこと。」「ほかには？ 大きくなると、できることがふえてワクワクするよね。あなたは、何ができるようになったかな？ 絵本の中の話は、できるようになったかな？ かぞくみんなと、できるようになったこと、体でかわったこと、おおきくなってやめたこと、発見してお話してみては？

### 高浜市立図書館



- やせた ぶた
- きじまはじめ／ぶん
- ほんだかつみ／え
- リプロポート

ぶたのなかに、やせたフータローがいました。みんなにばかにされ、「やせぼち、やせぼち」と、いじめられていました。えさを、いっぱい食べても、ちっとも太りません。風が吹いてきてあらしになり、フータローは飛ばされて、さんざんでした。さるの博士が「おもりをつけなさい」と言います。フータローは、そんなものは、つけたくないと思い、「自分は自分さ」と言う最後の一言がかっこいいのです。

幡豆町立図書館



- いわしくん
- 菅原たくや
- 文化出版局

吉良町立図書館



- これがほんとの大きさ！
- ステイプ・ジェンキンズ／作
- 佐藤見果夢／訳
- 評論社

この本の主人公は、いわしくん。日本の海でうまれた。泳いだ。りようしさんにつかまり、船にのせられ、港に運ばれた。パックにつめられ、ならべられ、売られた。買われて、やかれて、食べられた。それから……、人間の体の一部となって、いわしくんはどうなったかな？ ふだん気にしてないけど、ちよつと待って。わたしたちがいつも食べているのは、生き物のいのち。きみが元気で遊べるのも、運動できるのも、いわしくんのおかげかもしれないね。

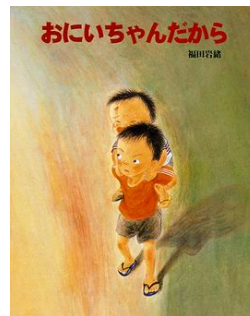
この絵本に出てくる動物は、みんな本物と同じ大きさです。見開きいっぱいにはがかれてあるダイオウイカの目玉や世界一大きなアフリカゾウの足など……。水族館や動物園に行ってもゴリラと手の大きさをくらべることなんてできませんが、この本ならだいじょうぶです。切り絵でえがかれていますが、動物のとくちようがともよくわかるすてきな絵本図かんです。

三好町立中央図書館



- どこへいくの？
- ともだちにあいに！
- いわむらかずお、
- エリック・カール
- 童心社

幸田町立図書館



- おにいちゃん
- だから
- 福田岩緒
- 文研出版

「どこへいくの？」こねこがこいぬにたずねます。  
 「ともだちにあいに！」  
 そして、にわとりや、やぎなど、次々と出会うともだちといっしょに歩きます。  
 「ともだちにあいに！」  
 いわむらかずおが右から左へ日本語で、エリック・カールが左から右へ英語でえがく友だちが、真ん中で出会い、楽しく歌いおどります。

お父さんやお母さんは、すぐに「お兄ちゃんだから」って言う。弟や妹がいる子はよく言われるせりふでしょ。「ぼくは弟のたかしが大きいだ」なのに、おふるもいっしょ。それも弟の好きなあつーい湯に。もう、がまんできない！ この絵本を家で読んだら、お兄ちゃんはおんぶおこつていたけど、弟がゆくえふめいになるところでは心配そうにしています。がまんしたり、心配したり、お兄ちゃん・お姉ちゃんはいへんだって、わかってもらいたいよね。



豊川市中央図書館



- おまえ
- うまそうだな
- 宮西達也／作・絵
- ポプラ社

「おまえ、うまそうだな。」と声をかけられ『うまそう』が自分の名前だとかんちがいしてしまうアンキロサウルスの赤ちゃん。食べようとしていたのに、お父さんと信じてついてくるアンキロサウルスにとまどうティラノザウルスでしたが、しだいに親としていっしょけんめい子育てをしていきます。顔や体、食べるものがまったくちがう二人ですが、おたがいを思いやるやさしい気持ちになみだが出てきます。お父さんといっしょに読むことをおすすめします。

豊橋市中央図書館



- いやいやえん
- 中川李枝子／作
- 大村百合子／絵
- 福音館書店

四さいのしげるは「ちゅーりつぷほいくえん」にかよっています。このほいくえんでは、ふしぎなことがたくさんおこります。お友だちと船を作って海へぼうけんに出たり、クマの子がほいくえんにやってきたりします。でもある日、しげるは「いやいやえん」に行くことになりました。わがままなことをしてお母さんをこまらせたからです。「いやいやえん」ではどんなことがおこるのでしょうか。

田原市中央図書館



- エルマーのぼうけん
- ルース・スタイル
- ス・ガネット／
- 作・絵
- 渡辺茂男／訳

エルマー・エレベーターは九さいの男の子。あるねこから、かわいそうなりゅうの話聞き、どうぶつ島へりゅうを助けにいきます。しかし、そこはもうじゅうたちのまちかまえる、おそろしい島。かしこいエルマーは、次々とおそいかかるピンチをユニークな方法できりぬけていきます。リュックサックにつまったチューインガムやハブラシを使ってね！ ドキドキわくわくのぼうけん本。シリーズ三さつ、いっしょに読めちゃいます！

蒲郡市立図書館



- まいごのどんぐり
- 松成真理子
- 童心社

どんぐりをむちゅうになつてひろったことはありますか？ この本は、どんぐりが大好きなコウくんと、コウくんのご両親が大好きなどんぐりのお話です。コウくとどんぐりはいつでもいっしょ。ところがある日、コウくんは林の中でどんぐりをなくしてしまいます。コウくんは泣きながら何日もどんぐりをさがしますが、とうとう見つけれませんでした。そしてどんぐりは、木になつてコウくんをそっと見守りつづけます。あいてを思いあう気持ちに、心があたたかくなる本です。

### 新城図書館



- どんぐりどらや
- どうめきともこ／さく
- かべやふよう／え
- 佼成出版社

森のさんぽ道。落ち葉をかぶったおじぞう様。「頭をなでるといいことがあるよ」とおばあちゃんに言われたとおり、アキオが頭の葉っぱをはらい落とすと……。森の中でどんぐりたちが作る「どんぐりどらや」のおいしいどらやきを食べることができたのです。この絵本を開くと、秋色一色の森の中から、いろいろな音が聞こえてきます。どんぐりたちの歌とおいしいどらやきのおいも……。おなかグーと鳴り出しそうな秋にぴったりの本です。

### 小坂井町中央公民館図書室



- ちよっとだけ
- 瀧村有子／作
- 鈴木永子／絵
- 福音館書店

なつちゃんのおうちにあかちゃんやんがやってきました。お姉ちゃんになった、なつちゃんのせいっぱいの「ちよっとだけ」が描かれています。おあさんにはもちろん、お兄ちゃん、お姉ちゃんになった子どもたちにも読んであげたい。心がほわっとあたたかくなる絵本です。

### 東栄町立図書館



- モチモチの木
- 斎藤隆介／作
- 滝平二郎／絵
- 岩崎書店

おさない豆太(まめた)とやさしいじさま(おじいさん)の心あたたまるお話です。おくびよう者の豆太が、じさまがたおれているのに気づいて、こわいのをがまんしてお医者さんのところまで走って行きます。その帰り道に、ゆう気のある子どもにしか見えない「モチモチの木にともる明かり」を見ることが出来ます。「霜月(しもつき)二十日の夜にモチモチの木に明かりがともる」という言い伝えは、まるでゆめのようなうつくしきです。本当のやさしさとは何か? 思いやりとは何か? その意味が伝わってきます。

### 設楽町民図書館



- みつばちみつひめ
- 秋山あゆ子
- ブロンズ新社

みつひめさまは、はちのすじようのおひめさま。たいくつなみつひめさまは、お手伝いをしようとして、だいじなみつを入れるつぼをわけてしまいました。こまわってしまつたみつひめさまはお城の外へと出してしまいました。初めて目にするお城の外、はちむらのはちさんといっしょに、だんごやふくろ、みつを入れるつぼ作りにいっしょけんめい。みつばちのうたを歌いながら、六角形のお城も楽しんでください。